信州大学

平成27年度 学生募集要項

工学部 推薦入試

【大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）】

機械システム工学科
電気電子工学科
土木工学科
建築学科
物質工学科
情報工学科
環境機能工学科

【大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）】

機械システム工学科
電気電子工学科
土木工学科
物質工学科
情報工学科
環境機能工学科

SHINSHU
UNIVERSITY

◆この募集要項の請求方法

【信州大学ホームページから請求する方法】

大学のホームページから，テレメールによる募集要項等の直接資料請求ができます。

詳しくは，信州大学ホームページ（http://www.shinshu-u.ac.jp/）の入試情報をご覧ください。

【信州大学工学部へ直接請求する場合の請求方法】

返信用封筒〔角形２号封筒（24 ㎝×33.２㎝）に請求者の郵便番号，住所，氏名を記入し，１８０円分※の切手を貼ったもの〕を別の封筒に入れ，その封筒の表に「推薦募集要項請求」と朱書の上，下記あて先に請求してください。

（※工学部案内の同封も希望する場合は３５０円）

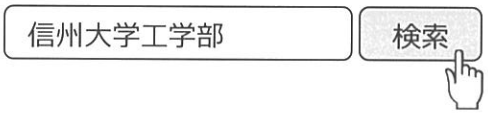
＜募集要項請求先＞

〒380-8553　長野市若里４－１７－１　信州大学工学部　入試事務室　　TEL026-269-5055

◆信州大学工学部で実施する２つの推薦入試へ重複出願する場合（P22 参照）

新たにこの学生募集要項をもう一冊，上記請求方法によりお取り寄せください。

◆信州大学工学部ホームページに，「入試情報」「各学科の情報」を掲載しています。



◆信州大学工学部において，受験生への宿泊のご案内はいたしません。

なお，試験場近隣では，JR 長野駅周辺の宿泊施設が便利です。

※特に，センター試験を課す推薦入試を行う１月は，降雪等による交通機関の乱れが発生する場合がありますので，前日に試験場周辺（長野駅周辺を含む。）に宿泊する事をお奨めいたします。

◆この募集要項は，入学手続が完了するまで大切に保管してください。

また，入試情報の開示を求める際にも必要となるページがありますので，情報開示を希望する方は，開示請求を済ませるまでは，大切に保管してください。

―― 目　　次 ――

1　アドミッション・ポリシー …… 2

2　推薦入試の日程概要と趣旨 …… 4

★ **大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）** …… 7～13

3　募集人員 …… 8

4　出願資格及び推薦要件 …… 8

5　出願手続 …… 9

6　選抜方法等 …… 11

7　選抜日時及び試験場 …… 12

8　合格発表 …… 12

9　入学手続 …… 12

★ **大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）** …… 15～21

3　募集人員 …… 16

4　出願資格及び推薦要件 …… 16

5　出願手続 …… 17

6　選抜方法等 …… 19

7　選抜日時及び試験場 …… 20

8　合格発表 …… 21

9　入学手続 …… 21

☆ **共通事項**（大学入試センター試験を課さない推薦入試と課す推薦入試の共通事項） …… 22～25

10　一般入試への出願 …… 22

11　信州大学工学部で実施する２つの推薦入試への重複出願 …… 22

12　障害がある方の事前相談 …… 22

13　個人情報の利用 …… 23

14　その他注意事項等 …… 24

15　入試情報の開示 …… 25

［添付書類等］

○ 「入学志願票」・「受験票」※1

○ 「推薦書」※2

○ 「自己申告書」（センター試験を課さない推薦入試用）※1

○ 「志望理由書」（センター試験を課す推薦入試用）※1

○ 「Ａ票：入学検定料納付確認書」・「Ｂ票：入学検定料領収書」・「Ｃ票：振込依頼書」

○ 「ラベル票」

○ 「願書送付用封筒（角形Ａ４号）」（志願者から信州大学工学部入試事務室あて）

○ 「受験票等送付用封筒（長形３号）」（信州大学工学部入試事務室から志願者あて）

※1 ……センター試験を課さない推薦入試用と課す推薦入試用が，別様式ですので注意してください。

※2 ……センター試験を課す推薦入試のＳＳＨ対象用が，別様式ですので注意してください。

1　アドミッション・ポリシー

◎信州大学のアドミッション・ポリシー

1　求める学生像

信州の悠久の歴史と文化，豊かな自然環境のもと，地域に根ざし世界に開かれた信州大学は，真理への探究心とチャレンジ精神を培い，高度な専門知識と深い思索力を基にして，課題を探求し解決する能力を備えた人材を育成します。

また，豊かな人間性と広い視野をもち，身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て，世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる，意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は，このような教育の理念・目標を実現するために，以下のような資質を備えた人たちを積極的に受け入れます。

・人間と自然を愛し，人との出会いを通じて学び合おうとする人
・知的好奇心が旺盛で，課題に向かって主体的に行動できる人
・多様性を理解し受け入れ，独自性を大切にする人
・社会・環境・国際問題に関心をもち，世界に貢献したいと考える人

2　入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り，各学部の特性に応じた適切な方法で多様な入試を実施し，大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し，選抜します。

◎工学部のアドミッション・ポリシー

私たち人類が築き上げた科学や技術の進歩は，私たちの生活に様々な恩恵をもたらしましたが，一方で地球温暖化のように，緊急を要する困難な環境問題を伴っています。人類の活動と地球環境が調和した持続性のある社会を築くために，科学に基礎をおいた工学が果たす役割はますます重要になっています。

本学部はその理念として，美しく恵まれた信州の自然環境の中で，個性を生かし，基礎的学力の素養のもとに工学の幅広い専門的知識を有し，問題解決能力を持った創造性豊かな人材を養成することを第一に掲げています。

また，工業技術と地球環境との調和に深く関心を持って，人類社会に貢献し，高度情報化社会を支える様々な学際領域にまたがる研究や開発を遂行し，国際化に対応できる人材を育成しています。また，本学部は，長野県の精密工業の伝統を汲み，地域との連携のもと，各産業分野の専門的研究の推進及び技術力の向上において，創設当時から一貫して地域社会の要請に応えて，基幹としての役割を果たして来ました。

現在，本学部は７つの学科を設置し，上述の理念に基づき，国内のみならず国際的な視点に立ち，科学と工学の幅広い分野においてその発展を担い社会に貢献したいという熱意と適性を有する学生を受け入れます。

以下に，本学部の理念・教育の目標，求める学生像を示します。

［理念］

本学部は，恵まれた自然環境の中で個性を生かし，基礎的学力の素養のもとに工学の幅広い専門的知識を有する創造性豊かな人材を養成します。

また，工学技術と環境保全との調和に深く関心を持って人類社会に貢献し，高度情報化社会における学際的技術の研究開発や国際化に対応できる人材を育成します。

［教育目標］

本学部は，基礎学力の向上を重視しつつ専門並びに学際分野の知識の修得を基盤にし，創造力の育成と課題探求能力及び工学的問題解決能力を開発する教育を行います。さらに，自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力を有し，専門基礎知識に基づいた発展的な議論を展開できる能力を育成します。また，地球環境保全などに対する技術者倫理をそなえ，国際的視野に立ってさまざまな分野で貢献できるための行動力や自立心を有する人材を養成します。

［求める学生像］

1　向上心があり，自ら考え行動することができる人
2　数学，物理学，化学，語学などの基礎を身につけている人
3　科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり，それらの原理や応用について関心を持っている人
4　高度な科学や技術の発展に興味をもち，それを学びたいと考えている人
5　実験や実習，講義，さらには研究に積極的に参加して行動できる人
6　将来，工学に関わる技術者，研究者として社会をリードするとともに，その技術と知識をもって社会に貢献する意欲を持つ人
7　科学技術・工学の発展が社会にもたらす影響について十分に考え，社会及び自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人

［大学入学までに履修すべき教科・科目］
各高等学校が定める教育課程表に従い，すべての教科・科目について，大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に，工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学，理科，英語に関しては，下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B
理科：物理基礎，物理，化学基礎，化学
英語：英語Ⅰ，英語Ⅱ，オーラルコミュニケーション，リーディング，ライティング

※上記科目を履修していない場合には，入学時までに科目の内容を理解していることが望まれます。

●機械システム工学科の求める学生像
1　科学技術，工学，ものづくりに対する情熱を常に失わず，実験や実習，講義，さらには研究に積極的に参加して行動できる人
2　機械工学に関わる技術者，研究者として社会をリードするとともに，その技術と知識をもって社会に貢献したいという強い意欲を持つ人
3　科学技術・工学の発展が社会にもたらすメリットとデメリットを十分に理解し，社会及び自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人
4　優れた技術力・知識を生かして，日本国内のみならず，国際的なフィールドでその能力を発揮できる技術者・研究者を目指す人

●電気電子工学科の求める学生像
1　将来，電気電子の分野を職業にしたいと意欲に燃え，その目標に向かって行動できる人
2　電気電子の先端研究に興味を覚え，自分でもやってみたいという意欲を持っている人
3　自分でプログラムを考えたり，電子工作をすることが好きな人
4　向上心があり，自ら考え，自ら行動することができる人

●土木工学科の求める学生像
1　安全で快適な施設・環境・まちづくりに興味がある人
2　自然との共生や環境問題，災害・減災に関心があり，学ぶ意欲のある人
3　将来，社会と地域の発展のために貢献したいと思っている人

●建築学科の求める学生像
1　学ぶ意欲と根気があり，試行錯誤をいとわない
2　人の考えを聞いたり，自分の考えを表現することが好き
3　環境の保全に関心がある
4　美しい事物への探求心がある
5　自然科学系科目を十分に理解し，人文・社会系科目を苦手とせず，幅広い視野と開かれた感受性をもつ

●物質工学科の求める学生像
1　化学や科学技術に興味があり，それらに関わることに喜びを感じる学生
2　物質工学の専門知識・技術を活用して社会に貢献したいと願う学生
3　自分で目標を立て，それに向かって計画的かつ継続的に取り組める学生
4　物質工学の修得に必要な化学，物理学及び数学の基礎学力を有する学生
5　情報発信や収集に必要な国語や英語の言語力を有する学生
6　様々な考え方を理解し，主体的かつ協調的に勉学や研究を進められる学生

●情報工学科の求める学生像
1　向上心があり，自ら考え，自ら行動することができる人
2　情報機器(組み込み家電，携帯電話など)の仕組みや動作に興味がある人
3　コンピュータの基礎から応用までを学びたい人
4　コンピュータのソフトウェア，ハードウェアに興味がある人
5　将来，情報工学の技術を社会のために役立てたいと思っている人

●環境機能工学科の求める学生像
1　環境科学と技術について総合的に深く知り，人類の未来に貢献する意志のある人
2　自然のメカニズムを科学的観点から知りたい人
3　自ら学び，考えることのできる人
4　理系科目のみならず，文化，経済的思考ができる人
5　科学技術がしっかりとした知識からしか生まれ得ないことを理解できる人

2　推薦入試の日程概要と趣旨

▼推薦入試の日程概要

	センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）	センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）
	機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科	機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科
出願期間	平成26年11月4日（火） ～ 11月7日（金） （消印有効）	平成26年12月15日（月） ～ 12月19日（金） （消印有効）
		大学入試センター試験 平成27年1月17日（土） ～ 1月18日（日）
選抜日	平成26年11月18日（火）	平成27年1月28日（水）
合格発表	平成26年11月27日（木）16時	平成27年2月6日（金）16時
入学手続期間	平成26年11月28日（金） ～ 12月5日（金） （消印有効）	平成27年2月9日（月） ～ 2月18日（水） （必着）

▼推薦入試の趣旨

本学部では二つの推薦入試を実施しています。両者とも，志望学科を専攻する強い意志と熱意があることが一番大切ですが，その他の点では期待する受験者像に違いがあります。

「大学入試センター試験を課さない推薦入試」では，学業成績が優秀であるとともに，高等学校での教科で特に誇れる良い成績の科目がある方や，課外活動などで特に優れた成績をおさめた方，特に誇れる資格がある方，その他，特筆すべき優れた活動をした方などが受験されることを期待しています。

一方，「大学入試センター試験を課す推薦入試」では，課外活動に積極果敢に取り組むなどの理由で，調査書の全体の評定平均値が必ずしも高くなくても，志望学科への進学に向けて一生懸命に勉強し，大学教育を受けるにふさわしい成績を大学入試センター試験でおさめることができる集中力，瞬発力，潜在的学習能力，向上心をもつ方が受験されることを期待しています。

機械システム工学科	今世紀に入り，高度化する工業技術において中心的な役割を担ってきた機械工学は，工業製品の性能向上や安全性の確保，環境問題の解決のために，その重要性がますます高まっており，基礎から応用まで幅広い知識と技術，高いモラルを身につけたエンジニアが必要とされています。 機械システム工学科では，このような要望をふまえ，二つの推薦入試を実施します。一つは，高等学校在学中に学業や課外活動などで特に優れた成績をおさめた意欲に溢れる人材を期待する「大学入試センター試験を課さない推薦入試」です。もう一つは，大学入試センター試験において良好な成績をおさめることのできる，集中力と向上心及び潜在的学習能力を備えた人材を期待する「大学入試センター試験を課す推薦入試」です。
電気電子工学科	電気電子工学科では，エネルギー，電子材料・デバイス，情報通信の広範囲の工学分野で独自の教育・研究活動を進め，明るい未来社会の建設並びに世界の平和と文化の発展に貢献できる人材の教育を目標としています。そのために，電気電子工学科ではアドミッション・ポリシーにうたわれている学生を求めています。このような学生の選抜方法として，「面接」を重視して評価する二つの推薦入試を行います。一つは，高校在学中に学業や課外活動において日々の努力を重ねてきた人材を期待する「大学入試センター試験を課さない推薦入試」です。もう一つは，大学入試センター試験において良好な成績をおさめることができる，集中力と向上心を持った人材を期待する「大学入試センター試験を課す推薦入試」です。
土木工学科	土木工学は，安全で快適に暮らせる生活環境を創り出すための学問です。土木工学科では，幅広い見識を持ち総合的な問題解決能力を有する技術者，社会の発展のために活躍できる技術者を育成しています。そのため，土木工学に対する熱意・意欲を持った学生，探求心旺盛な学生，また基礎的な学力を持ち合わせている学生を求めています。 そのような学生を迎え入れるための選抜方法として，土木工学科では二つの推薦入試を実施します。一つは，熱意・意欲を持ち，高校在学中に学業や課外活動などで優れた成績をおさめた人材を期待する「大学入試センターを課さない推薦入試」です。もう一つは，大学入試センターにおいて良好な成績を納めることのできる基礎学力をもつ人材を期待する「大学入試センターを課す推薦入試」を行います。
建築学科	建築学科では，建築に関する確実な基礎学力と高度な専門知識と深い探究心をもった専門家の育成を目指します。アドミッション・ポリシーに記されているように，建築を学ぶには高等学校で修得すべき基礎的な学力が十分であることを前提として，意欲，根気，探求心，感性などが重要だと考えています。 そこで，建築学科では書類審査と面接によって基礎的な学力を確認しつつ，意欲と行動力に満ちた人物を望んで推薦入試を行います。

物質工学科	物質工学科は化学系の学科であり，新しい化学物質の合成ならびに新素材の開発と応用などを研究している学科です。物質工学科では，有機化学，無機化学，物理化学，分析化学及び生物化学に関する教育と研究を行っており，講義と実験を通して，社会の多様なニーズに対応できる人材を育成することを目的としています。そのためには，基礎的な学力を備え，熱意を持って学問を追求することができる学生を必要としています。このような学生の選抜には，筆記試験結果だけでは不十分であることから，面接によって化学に対する勉学意欲と積極性を評価する二つの推薦入試を実施します。 「大学入試センター試験を課さない推薦入試」は，長期的な視野に立ち，計画的，継続的に物事に取り組むことができる学生を，一方，「大学入試センター試験を課す推薦入試」は，短期間に，集中力，瞬発力をもって物事に対処できる学生を主な対象とした選抜試験です。
情報工学科	情報工学科では，コンピュータのソフトウェア，ハードウェアに関連する分野の基礎から応用までを学び，これらに強い学生の養成を目指しています。そのため理論の講義を充実させるとともに演習・実験の時間を増やし，創造的思考に優れ，同時に実戦的な技術を備える学生の養成を目指しています。このような授業形態のもとでは，自ら学び向上しようとする強い意欲が欠かせません。 このような学生の選抜方法として，情報工学科では二つの推薦入試を実施します。一つは，積極性・勉学や将来への目的意識・発想力等の人物面と基礎学力とを等分評価する「大学入試センター試験を課さない推薦入試」です。もう一つは，大学入試センター試験において良好な成績をおさめることができる，集中力と潜在的学習能力及び向上心を有する人材を期待する「大学入試センター試験を課す推薦入試」です。
環境機能工学科	環境機能工学科は，環境問題の本質を深く理解しその解決に役立つ科学技術の基礎知識を身につけた人材の育成を行っています。そして，知識を身につけるだけでなく自ら環境配慮活動を実践する意識である“環境マインド”を育む教育を行っています。そのために，基礎学力を有することはもちろん，環境科学と技術について自ら深く考え探究することができ，環境問題の解決に貢献する熱意を持った学生を求めています。具体的には，アドミッション・ポリシーを見てください。 このような学生を選抜するために，二つの推薦入試を実施します。一つは「大学入試センター試験を課さない推薦入試」です。職業教育を主とする学科を対象に「志願書類審査」及び「面接」によって，基礎学力を有しかつ高い意欲を持った学生の選抜を行います。もう一つは「大学入試センター試験を課す推薦入試」です。「大学入試センター試験」と「志願書類審査」によって，大学入試センター試験において良好な成績をおさめることができる基礎学力と高い意欲を持った学生の選抜を行います。総合的な評価を行う全学科対象と，特に理数系を重視した評価を行うスーパーサイエンスハイスクール対象を設けています。

大学入試センター試験を課さない推薦入試
（推薦入試Ⅰ）

機械システム工学科
電気電子工学科
土木工学科
建築学科
物質工学科
情報工学科
環境機能工学科

3　募集人員

▼全学科対象

学　科　名	入学定員	募集人員	対象となる学校の範囲
機械システム工学科	80	8	高等学校（中等教育学校を含みます。）の各学科
電気電子工学科	95	11	
土　木　工　学　科	45	7	
物　質　工　学　科	60	10	
情　報　工　学　科	90	25	
計	370	61	

▼職業教育を主とする学科対象

学　科　名	入学定員	募集人員	対象となる学校の範囲
機械システム工学科	80	2	高等学校（中等教育学校を含みます。）の職業教育を主とする学科（職業専門科目を２０単位以上履修させるもの）
電気電子工学科	95	4	
土　木　工　学　科	45	1	
建　築　学　科	50	1	
物　質　工　学　科	60	2	
情　報　工　学　科	90	5	
環境機能工学科	50	1	
計	470	16	

※推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

4　出願資格及び推薦要件

次の各号に該当し，高等学校（中等教育学校を含みます。以下同じ）の長（以下「学校長」といいます。）が，責任をもって推薦できる方とします。

なお，学校長が推薦できる人員に制限はありません。

（1）高等学校を平成２５年４月１日から平成２７年３月３１日までに，卒業した方又は卒業見込みの方

（2）高等学校の学業成績が優秀である方

（3）次のいずれかに該当する方

①　高等学校での教科で特に誇れる良い成績の科目があること。

②　課外活動などで特に優れた成績を修めていること。

③　特に誇れる資格を取得していること。

④　その他，特筆すべき優れた活動をしていること。

（4）合格した場合，入学を確約できる方

＜注意＞「職業教育を主とする学科対象」に該当する人が，「全学科対象」に出願することも可能です。ただし，「全学科対象」と「職業教育を主とする学科対象」の二つに重複出願はできません。

5　出願手続

（1）出願期間

平成 26 年 11 月 4 日（火）～平成 26 年 11 月 7 日（金）（消印有効）

原則として郵送としますが，持参による場合の受付時間は 9 時から 17 時までとします。

（2）出願方法等

① **出願書類等は，この募集要項に添付する願書送付用封筒〔角形Ａ４号〕に一括して入れ，出願期間内に「書留速達郵便」で信州大学工学部入試事務室へ郵送又は持参してください。**

なお，推薦学校長が取りまとめて提出する場合も，志願者各人の必要書類をそれぞれ願書送付用封筒に入れて提出してください。

② 出願手続を完了した方には，受験票及び受験者心得等を送付します。

③ 試験実施期日の３日前になっても受験票等が到着しないときには，工学部入試事務室に問い合わせてください。

（3）出願書類等提出先

〒380-8553　長野県長野市若里４－17－１

信州大学工学部入試事務室　　TEL 026-269-5055

（4）出願書類等

入学志願者は，次の書類等を取り揃えて出願期間内に手続してください。

出願書類等	摘　　要
入学志願票 受　験　票 (大学入試センター試験を課さない推薦入試用)	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 出願前３か月以内に撮影した正面，無帽，上半身，背景なしの写真（縦４㎝×横３㎝，白黒・カラーは問いません。）を指定欄（２箇所）に貼ってください。（試験場で不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。）
調　査　書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し，厳封したものとします。
推　薦　書	この募集要項に添付する用紙により出身学校長が作成し，厳封したものとします。
自己申告書	この募集要項に添付する用紙に，記入要領を参照して記入してください。
ラ　ベ　ル　票	この募集要項に添付する用紙に，所要事項を記入してください。

入学検定料 納付確認書 （Ａ　票）	①　入学検定料１７，０００円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して，平成26年10月28日から平成26年11月7日までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途手数料が必要です。 なお，郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。また，ＡＴＭ（現金自動預支払機），携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ②　振込み後，納付確認書（Ａ票）及び領収書（Ｂ票）を受け取り，Ａ票，Ｂ票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し，納付確認書（Ａ票）を提出してください。 また，「取扱金融機関収納印」欄には，平成26年11月7日（出願期間最終日）までの収納印があるものに限り有効となりますので，特に出願期間最終日に振り込まれる場合は，金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③　出願期間最終日に持参により提出する方で，金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り，現金による納付を受け付けます。
受験票等 送付用封筒	この募集要項に添付する封筒（長形３号）に志願者の日本国内の郵便番号，住所，氏名を明記し，372円分の切手（速達料を含みます。）を貼ってください。

【記入上の注意事項】

○ 黒のボールペン又はインクで記入してください。

○ 誤って記入した場合は，訂正箇所を二重線で消してください。

○ ※印の欄は，記入しないでください。

（５）出願に際しての注意事項

①　国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）に出願することができるのは，一つの大学・学部のみです（22ページの「**11　信州大学工学部で実施する二つの推薦入試への重複出願**」を参照してください）。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

②　「全学科対象」と「職業教育を主とする学科対象」の二つに重複出願はできません。

③　出願書類に不備があるものは，受理しません。

④　受理した出願書類等の志望学科の変更は認めません。

⑤　受理した出願書類等及び検定料は，どのような理由があってもお返しできません。

なお，検定料を誤って二重に振り込んだ場合，又は，振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は，本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については，本学のホームページ（入試情報／学部入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。

（http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/）

⑥　出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学許可を取り消します。

⑦　出願書類等の提出後，受信場所を変更した場合は，直ちに工学部入試事務室に届け出てください。

6　選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，次のとおり選抜を行います。

（1）選考方法及び配点

選考方法と配点 ／ 学科	面接（口述試問）・調査書等書類
機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 情報工学科 物質工学科 環境機能工学科	１００

※建築学科は，面接の参考とするためのスケッチを含みます。
黒鉛筆（４Ｂ）と消しゴム（練りゴム）を持参してください。

（2）採点・評価基準

学　科	評　価　の　要　点
機械システム工学科	目的意識・意欲及び基礎学力・論理的思考力の高さを総合評価
電気電子工学科	積極性・将来性等の人物面に重点をおき，理数系基礎学力を加味して総合評価
土木工学科	学習意欲，積極性，基礎学力，課外活動，専門への関心の高さを総合評価
建築学科	建築への関心の高さ・基礎学力・主体性や積極性を評価
物質工学科	学習意欲・積極性・活動性等の人物面，勉学や将来への目的意識，英語・化学の基礎学力，面接での表現力を評価
情報工学科	積極性・勉学や将来への目的意識・発想力等の人物面と基礎学力を等分評価
環境機能工学科	環境への関心・学習意欲・活動性等の人物面と，物理あるいは化学の基礎学力を評価

（3）合否判定基準

学　科	判　定　基　準
機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科	調査書（評定平均値など）・推薦書・自己申告書・面接（口述試問）の結果を総合して判定 特に面接（口述試問）の結果を重視

7　選抜日時及び試験場

（1）選抜日時

期　　日	時　　間	選　抜　方　法
平成 26 年 11 月 18 日（火）	午前９：００開始　※	面接（口述試問）

※　試験当日は２０分前（午前８：４０）に集合してください。

※　終了予定時刻は，志願者数が確定次第，信州大学工学部ホームページ上でお知らせします。

（2）試験場

信州大学工学部　　長野県長野市若里４－17－１

（注）受験の際は，「信州大学工学部の受験票」を必ず持参してください。

8　合格発表

（1）平成 26 年 11 月 27 日（木）16 時

信州大学工学部構内公用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに，同日中に合格者に対し合格通知書を，推薦学校長あてに合否通知文書を発送し，公式発表とします。（不合格の方には通知しません。）信州大学ホームページ（入試情報）にも合格者の受験番号を速報掲載します。

なお，電話やメール等による合否のお問い合わせには，応じられません。

（2）合格者には入学手続に必要な書類を送付しますので，入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないよう，必ず入学手続期間内に手続を行ってください。

9　入学手続

合格者は，入学手続期間内に入学料を納入し，必要な書類等を提出してください。

なお，詳細については，合格通知書に同封しお知らせしますので，必ずご覧ください。

（1）手続期間

平成 26 年 11 月 28 日（金）～平成 26 年 12 月 5 日（金）

① 持参による受付時間は，9時から 17 時までとし，土曜日及び日曜日は受け付けません。

② 郵送の場合は，平成 26 年 12 月 5 日（金）　消印有効とします。

（2）入学手続書類提出先

〒380-8553　長野県長野市若里４－17－１

信州大学工学部入試事務室　　TEL 026-269-5055

（3）納付金の納入等

①　初年度納付金（入学料，授業料）の額

ア　入学料　　２８２，０００円

イ　授業料　（前・後期）各２６７，９００円〔年額　５３５，８００円〕

（注）金額は平成 26 年 4 月現在の額です。入学時及び在学中に入学料及び授業料が改定された場合には，改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。納付金の額及び納付方法については，合格通知書に同封しお知らせします。

②　既納の入学料は，どのような理由があってもお返しできません。

③　入学料，授業料の納付が著しく困難な方には，免除等の制度がありますので，希望される方は，合格通知書に同封される入学料免除，授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

（4）手続に当たっての注意事項

① 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，本学へ入学する権利を失います。
（次の②による「入学の辞退」とはみなしません。）

② 特別な事情により入学を辞退する方は，「入学辞退願（本学所定の様式）」を，推薦学校長を経て，平成27年2月18日（水）までに「（2）入学手続書類提出先」に提出し，本学学長の許可を受けなければなりません。

なお，許可がない場合は他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりえません。

③ ①又は②により入学しなかった場合，その事情によっては，翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。

Ｐ２２「共通事項」へ続く

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）と，課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）の共通事項が，２２ページ以降にありますので，そちらも必ず読んでください。

大学入試センター試験を課す推薦入試
（推薦入試Ⅱ）

機械システム工学科
電気電子工学科
土木工学科
物質工学科
情報工学科
環境機能工学科

3　募集人員

▼全学科対象

学　科　名	入学定員	募集人員	対象となる学校の範囲
機械システム工学科	80	15	高等学校（中等教育学校を含みます。）の各学科
電気電子工学科	95	15	
土木工学科	45	5	
物質工学科	60	10	
情報工学科	90	10	
環境機能工学科	50	7	
計	420	62	

▼スーパーサイエンスハイスクール（以下「ＳＳＨ」という）対象

学　科　名	入学定員	募集人員	対象となる学校の範囲
環境機能工学科	50	2	文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）の指定を受けている高等学校，または都道府県が指定するＳＳＨに準ずる（大学や研究機関と連携した理数教育及び課題研究を実施している）高等学校
計	50	2	

※推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

※ＳＳＨ枠の対象となる学校範囲について不明な点は，高等学校，又は，信州大学工学部入試事務室へお問い合わせください。（通常の理数科は対象となりません。）

4　出願資格及び推薦要件

次の各号に該当し，高等学校（中等教育学校を含みます。以下同じ）の長（以下「学校長」といいます。）が，責任をもって推薦できる方とします。

なお，学校長が推薦できる人員に制限はありません。

（1）高等学校※を平成２５年４月１日から平成２７年３月３１日までに，卒業した方又は卒業見込みの方

※「ＳＳＨ対象」で出願する場合

文部科学省のＳＳＨの指定を受けている高等学校，又は，都道府県が指定するＳＳＨに準ずる高等学校において，大学や研究機関と連携した理数教育及び課題研究に参画した方

（2）志望学科を専攻する強い意志と熱意がある方

なお，信州大学工学部の大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）に不合格となった方は，同一学科を志望する場合に限り，信州大学工学部の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）に出願することができます。

（3）合格した場合に入学を確約できる方

（4）**平成２７年度大学入試センター試験において，志望する学科が指定する教科・科目を受験する方**

〔１９ページの表を参照してください。〕

＜注意＞「ＳＳＨ対象」に該当する人が，「全学科対象」に出願することも可能です。

ただし，「全学科対象」と「ＳＳＨ対象」の二つに重複出願はできません。

5　出願手続

（1）出願期間

平成 26 年 12 月 15 日（月）～平成 26 年 12 月 19 日（金）（消印有効）

原則として郵送としますが，持参による場合の受付時間は９時から 17 時までとします。

（2）出願方法等

① **出願書類等は，この募集要項に添付する願書送付用封筒〔角形Ａ４号〕に一括して入れ，出願期間内に「書留速達郵便」で信州大学工学部入試事務室へ郵送又は持参してください。**

なお，推薦学校長が取りまとめて提出する場合も，志願者各人の必要書類をそれぞれ願書送付用封筒に入れて提出してください。

② 出願手続を完了した方には，受験票及び受験者心得等を送付します。

③ 試験実施期日の３日前になっても受験票等が到着しないときには，工学部入試事務室に問い合わせてください。

（3）出願書類等提出先

〒380-8553　長野県長野市若里４－17－１

信州大学工学部入試事務室　　TEL 026-269-5055

（4）出願書類等

入学志願者は，次の書類等を取り揃えて出願期間内に手続してください。

出願書類等	摘要
入学志願票 受験票 （大学入試センター試験を課す推薦入試）	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 出願前３か月以内に撮影した正面，無帽，上半身，背景なしの写真（縦４㎝×横３㎝，白黒・カラーは問いません。）を指定欄（二箇所）に貼ってください。（試験場で不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。）
大学入試センター試験成績請求票	大学入試センターから交付される「平成 27 センター試験成績請求票（推薦国公立推薦入試用）」を，入学志願票の指定欄に貼ってください。
調査書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し厳封したものとします。 【「ＳＳＨ対象」で出願する場合】 ＳＳＨ等で履修した理数教育科目の概要について，「備考」欄に記載してください。
推薦書	この募集要項に添付する用紙（対象ごと様式別）により出身学校長が作成し，厳封したものとします。 【「ＳＳＨ対象」で出願する場合】 ＳＳＨ用の推薦書を作成し，志願者が参画した課題研究報告書等の写し（該当するページのみで可）を添付してください。
志望理由書	この募集要項に添付する用紙に「記入要領」を参照して記入してください。
ラベル票	この募集要項に添付する用紙に，所要事項を記入してください。

入学検定料納付確認書（Ａ票）	① 入学検定料１７，０００円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して，平成26年12月8日から平成26年12月19日までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには，別途手数料が必要です。 なお，郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。ＡＴＭ（現金自動預支払機），携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後，納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り，A票，B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し，納付確認書（A票）を提出してください。 また，「取扱金融機関収納印」欄には，平成26年12月19日（出願期間最終日）までの収納印があるものに限り有効となりますので，特に出願期間最終日に振り込まれる場合は，金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で，金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り，現金による納付を受け付けます。
受験票等送付用封筒	この募集要項に添付する定形封筒（長形３号）に志願者の日本国内の郵便番号，住所，氏名を明記し，372円分の切手（速達料を含みます。）を貼ってください。

【記入上の注意事項】

○ 黒のボールペン又はインクで記入してください。
○ 誤って記入した場合は，訂正箇所を二重線で消してください。
○ ※印の欄は，記入しないでください。

（５）出願に際しての注意事項

① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）に出願することができるのは，一つの大学・学部のみです（22ページの「**11 信州大学工学部で実施する２つの推薦入試への重複出願**」を参照してください）。
※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

② 「全学科対象」と「ＳＳＨ対象」の二つに重複出願はできません。

③ 出願書類に不備があるものは，受理しません。

④ 受理した出願書類等の志望学科の変更は認めません。

⑤ 受理した出願書類及び入学検定料は，どのような理由があってもお返しできません。
なお，検定料を誤って二重に振り込んだ場合，又は，振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は，本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については，本学のホームページ（入試情報／学部入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。
（http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/）

⑥ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は，入学許可を取り消します。

⑦ 出願書類等の提出後，受信場所を変更した場合は，直ちに工学部入試事務室に届け出てください。

6　選抜方法等

（1）個別学力検査を免除し，次のとおり選抜を行います。

①大学入試センター試験

受験を要する教科・科目［3教科4科目］

学科	教科	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	科　　目	受験を要する科目等
機械システム工学科 電気電子工学科 情報工学科	数　学	①	数学Ⅰ・数学A，◎旧数学Ⅰ・旧数学A	左欄から1科目
		②	数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎，簿記・会計，情報関係基礎， ◎旧数学Ⅱ・旧数学B	左欄から1科目※1
	理　科		物理，◎物理Ⅰ	左欄から1科目 （2科目受験する場合の第1解答科目は，物理又は物理Ⅰとしてください。）
	外国語		英語	左欄の科目※2
土木工学科 物質工学科 環境機能工学科	数　学	①	数学Ⅰ・数学A，◎旧数学Ⅰ・旧数学A	左欄から1科目
		②	数学Ⅱ・数学B，工業数理基礎，簿記・会計，情報関係基礎， ◎旧数学Ⅱ・旧数学B	左欄から1科目※1
	理　科		物理，化学，生物，地学， ◎理科総合A，◎理科総合B，◎物理Ⅰ， ◎化学Ⅰ，◎生物Ⅰ，◎地学Ⅰ	左欄から1科目 （2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を利用します。）
	外国語		英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語	左欄から1科目※2

※1　「工業数理基礎」，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は，職業教育を主とする学科，総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）に限ります。

※2　「英語」はリスニングを課します。

◎印の科目は経過措置の科目で，旧教育課程履修者のみ選択解答することができます。詳細は24ページの「14　その他注意事項等」を参照してください。

②面接及び調査書等書類審査

学　科	面　接	調査書等書類審査
機械システム工学科，電気電子工学科， 情報工学科，環境機能工学科		○
土木工学科，物質工学科	○	○

（2）配点（大学入試センター試験と面接・調査書等書類審査）

	選考／学科	大学入試センター試験			面　接	調査書等書類審査	合　計
		数　学	理　科	外国語			
全学科対象	機械システム工学科 電気電子工学科 情報工学科 環境機能工学科	200	200	200	—	50	650
全学科対象	土木工学科	200	200	200	50		650
全学科対象	物質工学科				300		900
SSH対象	環境機能工学科	200	200	50	—	50	500

注）「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し，「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。
ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

（３）採点・評価基準（面接・調査書（評定平均値など）等書類）

学　科	評価の要点
機械システム工学科	機械システム工学を学ぶための総合的な基礎学力，志望動機を評価
電気電子工学科	電気電子工学を学ぶための基礎学力，志望理由書（専門への関心の高さなど）を総合評価
土木工学科	学習意欲，学力，課外活動，専門への関心の高さを総合評価
物質工学科	学習意欲・積極性・活動性等の人物面，勉学や将来への目的意識，面接での表現力を評価
情報工学科	情報工学を学ぶための基礎学力，志望動機を評価
環境機能工学科	全学科対象は，環境科学と技術について学ぶための基礎学力と，志望動機及び環境への関心の高さを総合評価 ＳＳＨ対象は，環境科学と技術について学ぶための基礎学力，特に理数系基礎学力と，高等学校で履修した理数教育の実績，志望動機，環境への関心の高さを総合評価

（４）合否判定基準

学　科	判定基準
機械システム工学科 電気電子工学科 情報工学科 環境機能工学科	大学入試センター試験の成績，調査書（評定平均値など）・推薦書及び志望理由書の内容を総合して判定
土木工学科 物質工学科	大学入試センター試験の成績，調査書（評定平均値など）・推薦書・志望理由書の内容及び面接の結果を総合して判定

7　選抜日時及び試験場（土木工学科・物質工学科志願者のみ）

（１）選抜日時

期　日	時　間	選抜方法
平成 27 年 1 月 28 日（水）	午前 ９：００ 開始 ※	面　接

※　試験当日は２０分前（午前８：４０）に集合してください。

※　終了予定時刻は，志願者数が確定次第，信州大学工学部ホームページ上でお知らせします。

※　機械システム工学科・電気電子工学科・情報工学科・環境機能工学科志願者は，出席不要です。

（２）試験場

信州大学工学部　　長野県長野市若里４－17－１

※受験の際は，「信州大学工学部の受験票」と「平成 27 年度大学入試センター試験の受験票」の２つを必ず持参してください。

8　合格発表

（1）平成27年2月6日（金）16時

信州大学工学部構内公用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに，同日中に合格者に対し合格通知書を，推薦学校長あてに合否通知文書を発送し，公式発表とします。（不合格の方には通知しません。）信州大学ホームページ（入試情報）にも合格者の受験番号を速報掲載します。

なお，電話やメール等による合否のお問い合わせには，応じられません。

（2）合格者には入学手続に必要な書類を送付しますので，入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないよう，必ず入学手続期間内に手続を行ってください。

9　入学手続

合格者は，入学手続期間内に入学料を納入し，必要な書類等を提出してください。

なお，詳細については，合格通知書に同封しお知らせしますので，必ずご覧ください。

（1）手続期間

平成27年2月9日（月）～平成27年2月18日（水）（必着）

①　持参による受付時間は，9時から17時までとします。土曜日，日曜日及び祝日は受け付けません。

②　郵送の場合は，平成27年2月18日（水）　17時までに必着とします。

（2）入学手続書類提出先

〒380-8553　長野県長野市若里４－17－１　信州大学工学部入試事務室　TEL 026-269-5055

（3）納付金の納入等

①　初年度納付金（入学料，授業料）の額

ア　入学料　　２８２，０００円

イ　授業料　（前・後期）各２６７，９００円〔年額　５３５，８００円〕

（注）金額は平成26年4月現在の額です。入学時及び在学中に入学料及び授業料が改定された場合には，改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。納付金の額及び納付方法については，合格通知書に同封しお知らせします。

②　既納の入学料は，どのような理由があってもお返しできません。

③　入学料，授業料の納付が著しく困難な方には，免除等の制度がありますので，希望される方は，合格通知書に同封される入学料免除，授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

（4）手続に当たっての注意事項

①　所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，本学に入学する権利を失います。（次の②による「入学の辞退」とはみなしません。）

②　特別な事情により入学を辞退する方は，「入学辞退願（本学所定の様式）」を，推薦学校長を経て，平成27年2月18日（水）までに「（2）入学手続書類提出先」に提出し，本学学長の許可を受けなければなりません。

なお，許可がない場合は他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりえません。

③　①又は②により入学しなかった場合，その事情によっては，翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。

Ｐ２２「共通事項」へ続く

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）と課す推薦入試（推薦入試）の共通事項が，２２ページ以降にありますので，そちらも必ず読んでください。

共 通 事 項

大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）と課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）の共通事項

10　一般入試への出願

推薦入試に不合格となった場合に備えて，本学及び他の国公立大学・学部の一般入試の前期日程及び後期日程並びに公立大学の中期日程に出願することができます。

なお，「平成 27 年度信州大学一般入試学生募集要項」は平成 26 年 11 月に発表予定です。

11　信州大学工学部で実施する２つの推薦入試への重複出願

「国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は，一つの大学・学部に限ります。」

なお，信州大学工学部の大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）に不合格となった方は，**同一学科を志望する場合に限り**，信州大学工学部の大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）に出願することができます。その場合，この募集要項をもう１部お取り寄せの上，出願書類をそろえて提出してください。

12　障害がある方の事前相談

本学に入学を志願する方で，障害（別表参照）があり受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は，出願の前に，下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。

なお，重度の障害がある方は，できる限り早い時期に相談してください。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので，事前に相談してください。

事前相談は障害がある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき，受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので，障害がある方の受験や修学を制限するものではありません。

（１）　提出の時期

センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）の場合 …… 平成 26 年 10 月 28 日（火）まで

センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）の場合 …… 平成 26 年 12 月 8 日（月）まで

（２）書面に記載する内容

① 志願者の氏名，住所，電話番号

② 出身学校名

③ 志願学部，学科（学科名の後に「推薦」と記載してください。）

④ 出願を希望する入試（推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱの別）

⑤ 障害の種類・程度（現に治療中の方は，医師の診断書を添付してください。）

⑥ 受験上特別な配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験特別措置決定通知書」の交付を受けた方は，複写（コピー）したものを添付してください。）

⑦ 修学上特別な配慮を希望する事項

⑧ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮

⑨ 日常生活の状況

（3）提出先

信州大学学務部入試課　　〒390-8621　松本市旭 3-1-1　電話 0263-37-2192

（4）提出期限後の不慮の事故等による場合の特別な配慮

提出期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は，その際にご相談ください。

〔別　表〕

区　分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1.　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2.　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　弱　者	1. 慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上及び修学上特別の配慮を必要とする程度のもの

（参考：学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定，発達障害者支援法第 2 条）

13　個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については，入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

①　入学手続
②　学籍管理
③　学習指導
④　学生支援関係業務
⑤　入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

また，国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，推薦入試の合格及び入学手続等に関する情報を，大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

14　その他注意事項等

（1）受験票は，入学手続や入試情報開示請求の際も必要となりますので，それまで大切に保管してください。

（2）入学手続完了者であっても平成 27 年 3 月に高等学校を卒業できない方は入学を許可しません。

（3）工学部に関する各種情報については，信州大学工学部ホームページをご覧ください。

（4）この学生募集要項について不明な点がある場合は，信州大学工学部入試事務室までお問い合わせください。

（5）入学生には，授業等で常時携帯して使用するために各学科で指定した，ノート型パソコンを入学時に用意していただいております。購入手続及びパソコンの仕様等詳細につきましては，合格者に対し平成 27 年 2～3 月頃に連絡いたしますが，あらかじめご承知おきくださるようお願いいたします。

なお，既にノート型パソコンをお持ちの方は，授業で使用するために必要な環境の整備を各自で行っていただくことになります。

（6）信州大学工学部は入学後１年間，松本市で１年生の課程を履修し，２年生から長野市の専門課程に進級します。

（7）試験前日又は当日に，長野駅周辺・大学近辺・大学入口付近で，合否電話・電報等の申込受付を行っている者がありますが，これらの行為は本学とは関係ありません。これらのことから生じるトラブル等に対して，本学は一切責任を負いませんので，十分注意してください。

（8）**旧教育課程履修者に対する経過措置（19ページの◎印の科目について）**

「旧教育課程履修者」とは，以下の①，②**以外の方**とします。

① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に平成24年 4月に入学し，数学，理科に関し新教育課程を履修し，平成27年 3月卒業見込みの者

② 中等教育学校の後期課程に平成24年 4月に進級し，数学，理科に関し新教育課程を履修し，平成27年4月卒業見込みの者

※旧教育課程履修者は，理科において，新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせて選択解答することはできません。

15　入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

（1）選抜状況等

①　志願者数，受験者数，合格者数及び入学者数

②　合格最高点・最低点及び合格者の平均点等についての資料（合格者数が少数（10名未満）の場合は開示しません。）

開示方法：信州大学ホームページ　(http://www.shinshu-u.ac.jp/)

信州大学工学部ホームページ　(http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/)

開示時期：平成27年4月以降

（2）個人成績等

①　試験成績

大学入試センター試験を課さない推薦入試：総合点，判定ランク

大学入試センター試験を課す推薦入試：センター試験の科目ごとの得点，総合点，判定ランク

②　調査書（客観的事実に係る記録部分）

開示方法：①の試験成績は，開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は，窓口での閲覧のみとします。

開示時期：平成27年7月中旬以降

請求者：原則として受験者本人とします。

請求方法：「入試情報開示請求願」に所要事項を記入し，下記の開示請求先に郵送（又は持参）してください。

なお，「入試情報開示請求願」は，信州大学のホームページ「入試情報」からダウンロードしてください。

※　受験者本人であることを確認するとともに，受験番号を照合するため，本学部の受験票を必ず添付してください。

※　郵送希望の場合は，返信用封筒[長形3号(12cm×23.5cm)]に郵便番号・住所・氏名を明記し，簡易書留料金を含む402円分の切手を貼ってください。

受付期間：平成27年5月11日（月）～5月22日（金）

※　郵送の場合は，5月22日の消印有効

※　持参の場合は，平日の8時30分から17時までとします。

開示請求先：信州大学学務部入試課

〒390-8621　長野県松本市旭3-1-1　（直通電話）0263-37-3450

信州大学工学部試験場への交通案内

■長野電鉄バス利用の場合
JR長野駅東口から長電バス1番のりば「屋島・保科温泉・日赤行き」バス停より，「日赤経由アークス中央行き」「日赤経由水野美術館行き」「保科温泉行き」のいずれかに乗車(5分)，バス停「信大工学部」で下車。

■アルピコバス利用の場合
JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばで，「日赤経由大塚南行き」「松岡行き」「サンマリーン行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車（8分），バス停「信大工学部前」で下車。

■徒歩
JR長野駅東口から，徒歩20分

キャンパス内の詳細マップ　http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html#campus

発行：　信州大学 工学部 入試事務室（平成26年7月）

〒380-8553 長野市若里4-17-1　TEL（026）269-5055
http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering

信州大学工学部は，環境マネジメントシステムISO14001を認証取得しています。

VEGETABLE OIL INK

この冊子は再生紙を使用し、環境に優しいベジタブルインクで印刷しています。